

# 県内教育関係機関研修

7月13日(水)に総勢16名が参加して県内教育関係機関研修に行ってきました。視察したのは長野市立裾花小学校、長野市立東部中学校の2校です。3年前までは、県外教育関係機関を視察していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、一昨年は中止、昨年は県内機関に日帰りでの実施となっていたこの研修、本年度も県内で日帰りでの実施となりました。



説明を聞く研修参加者

長野市立裾花小学校では、グランドデザインのほか多くの資料を拝見しながら、宮島卓朗校長先生からお話をお聞きしました。教科担任制は、裾花小学校の3つの重点、育てる9つの力、12の取組のうちの一つの取組に過ぎないこと、これらはすべてがつながっていて、その中でメリットを上げデメリットを下げっていくこと、目的と手段を混同しないことを大切にしているとお

話いただきました。「子供の学び方は教員の学び方と相似型である」「遊ぶように学ぶ。学びながら遊ぶ。子供も教員も、楽しんで」という言葉も印象深かったです。授業参観の後は、教務主任の小林聖明先生より「教科担任制の取り組みについて」と題したプレゼンテーションをしていただき、併せて配布の資料を基



廊下に張り出された校長の「つぶやき」



各学級のよさを校長が発信

に、実施パターンのシミュレーションを具体的にご提示いただきました。

長野市立東部中学校では、学校の取組をビデオで視聴した後、篠原謙治校長先生から「自立を育てる場や機会を位置付けたい」「やらなくてはいけない」より、生徒の“やりたい”を伸ばしていこう」という理念の下、「Student First～有意味なアウトプットのある学びの充実～」をコンセプトにした取組「新たな中学校づくりへのチャレンジ『Look East Project 2022』」についてお話を伺いました。

その後、「学校生活の充実や地域貢献を目指して生徒が企画運営する活動」としての「East Company」の



リラクゼーションをねらった商品の製作

時間を、代表生徒の皆さんに案内していただきました。この自主的活動は、生徒が企画した会社でSDGsの達成を目指していますが、それぞれの会社の“社長”は生徒自身で、明確な企業理念を持ち、“社員”と協力しながら製品の製作や活動にあたっていました。私たちがさまざまな質問をするのですが、社長



蜜蝋ラップの作成

が会社の目標や活動の内容をよく把握していて、生徒自身の活動になっていることが分かりました。

さらに、見学から戻り、3人の代表生徒さんとの座談会が開かれました。そのなかで、EastCompanyで学ぶ価値について、生徒さんたちは即座に自分の考えを明確に述べていました。この活動が「有意味なアウトプット」に直結していると感心させられました。

#### 今後の予定

今回の研修で説明をお聞きし、実際に児童生徒の様子を見せていただいた成果について、9月8日(木)に報告座談会を開いて発表します。視察した先生方が得たものを共有したいと思います。上伊那教育会員の皆様、ふるってご参加ください。雑誌「上伊那教育」にも寄稿する予定です。



校内通貨との交換所